



# 令和6年度 常滑市立常滑中学校 スクールプラン



## <常滑市学校教育目標>

- ①豊かな心と健やかな体を  
・いのちを尊び、心身ともにたくましく、心豊かに生きる態度の育成
- ②確かな学力を  
・基礎・基本の確実な定着と、生涯学習の基礎となる自ら進んで学ぶ力の育成
- ③未来に生きる力を  
・将来に生きるために、社会の期待に応えるために必要な資質・能力の育成

## 「明日も学びに行きたくなる学校」

### <校訓> 自主・自律

#### <本校のめざす生徒像>

- 自ら考え すすんで実行する たくましい人
- 明るい仲間づくりで お互いを高め合う 心豊かな人
- 物事を 科学的に判断する 公正な人

## <経営方針>

- 全職員の「愛情・創意・協働」を基に、「明日も学びに行きたくなる学校」を目指した教育活動に取り組む。
- 確かな学力を身に付け、心豊かに生きる力を育成する。
  - 「居場所づくり」と「絆づくり」で互いに認め合い、高め合う心を育成する。
  - 「安心・安全な常中」を目指して、教育環境の整備に努める。
  - 家庭や地域との連携により、学校協力体制を整え、信頼される学校づくりに努める。
  - 心身ともに健康で、生徒・保護者・地域に向き合える職場環境の充実を図る。



研究主題 「当事者意識をもち、仲間と協働しながら『自主・自律』を実現できる生徒の育成  
～自己決定の場を工夫した自治的な集団づくりを通して～



### 確かな学力と生きる力

- 主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりの推進
- 学習意欲を高め、学びを深めるchromebookの活用
- 「考え、議論する道徳」の理解と実践

重点目標

具体的な取組

- ・現職教育の推進と授業力向上のための研究授業を実施する。
- ・数学、英語でティームティーチングの授業を実施する。
- ・朝読書を実施し、読書習慣の定着を図る。

### 居場所づくり・絆づくり

- あいさつと笑顔があふれる集団づくり
- 生徒主体の認め合い、高め合う活動の実践(学校行事・生徒会活動等)
- 生徒一人一人の特性を理解し、寄り添い、支援する生徒指導(保護者・関係機関との連携)
- 不登校とならないための魅力ある学校づくりと不登校生徒へのきめ細かな柔軟な対応

- ・生徒が主体的に取り組み、縦と横(異学年と同学年)を意識した学校行事を実施する。
- ・自己有用感や達成感が培われる活動の工夫と充実を図る。
- ・支援が必要な生徒の情報共有と迅速なケース会議を実施し、不登校生徒の居場所づくりを行う。

### 安心・安全な常中

- 全職員の共通理解と協力による教育活動全体でのいじめ防止
- 命の大切さを最優先した交通安全指導の実施
- HAPPY TIME(ソーシャルスキルトレーニングと構成的グループエンカウンターを組み合わせた取組)の実践
- オアシスルーム(校内教育支援センター、校内サポートルーム)を効果的に活用し、個に応じた支援を実施

- ・教育相談やいじめアンケートを実施し、いじめの早期発見と迅速な対応に努める。
- ・常中見守り隊と連携し、安全な自転車の乗り方指導や交通ルール順守の啓発を図る。
- ・年間を通して、月2回以上HAPPY TIMEを実施する。

### 連携と信頼

- 学校と地域の連携・協働によるコミュニティ・スクールの推進 ※職場体験活動のあり方検討
- 地域を愛し、地域で活躍する生徒を育てるボランティア活動の推進 ※生徒・教職員の地域活動
- 信頼や安心につながる迅速・正確かつ温かい学校広報の充実 ※学校・学年通信、HPの充実

- ・年2回の学校運営協議会を開催し地域と教育活動の意見交換を行う。
- ・地域と連携したボランティア活動に協力する。
- ・学校通信、学年通信、各種たより、学校HP等で、タイムリーに情報を発信する。

### 職場環境の充実

- 学年や校務分掌における課題を迅速に相談し、チームで対応する体制づくり ※学年体制
- 学校行事等の見直しやスリム化、部活動ガイドラインの順守、地域部活動への移行推進
- 働き方を見直し、教師力や人間性や創造性を高めた効果的な教育活動の推進 ※授業時間、最終下校時刻

- ・課題を迅速に相談し、チームで対応する。
- ・諸行事を見直し、目的に合った内容にスリム化する。
- ・4、5月は45分授業(5分短縮)、最終下校時刻(16:45<16:30>)を設定し、行事・授業準備等の時間を確保する。(市内中学校統一)